

(別紙 1)

平成 29 年度～平成 33 年度 社会福祉法人九戸福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人九戸福祉会		法人番号		5400005004711			
法人代表者氏名	理事長 葉 澤 博							
法人の主たる所在地	岩手県九戸郡九戸村大字伊保内第 9 地割 73 番地							
連絡先	0195-42-4165							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日								
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 21 日							
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成 28 年度末現在)	1 か年度目 (平成 29 年度末現在)	2 か年度目 (平成 30 年度末現在)	3 か年度目 (平成 31 年度末現在)	4 か年度目 (平成 32 年度末現在)	5 か年度目 (平成 33 年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	121,660	121,460	119,660	113,473	0	0		0
	うち社会福祉充実 事業費(単位：千円)		▲200	▲1,800	▲6,187	▲113,473	0	▲121,660
本計画の対象期間	平成 29 年 8 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費 (単位：千円)
1 か年度目	デイサービスセンター建替移転事業	社会福祉	既存	建設に向けての調査	有	200
	小計					200
2 か年度目	デイサービスセンター建替移転事業	社会福祉	既存	土地の確保（建設場所の選定、購入に向けての準備）	有	1,800
	小計					1,800

3 か年 度目	デイサービスセ ンター建替移転 事業	社会福祉	既存	設計図への要望確認	有	6,187
小計						6,187
4 か年 度目	デイサービスセ ンター建替移転 事業	社会福祉	既存	デイサービスセンターの建設	有	123,750
小計						123,750
5 か年 度目	デイサービスセ ンター建替移転 事業	社会福祉	既存	備品等の購入	有	3,000
小計						3,000
合計						134,937

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	当法人のデイサービスは、約 30 年前に特養に併設で建設され、機能訓練を行うには狭すぎる場所であり、浴室が共用であったため、入浴時間や行事の制限、感染症の影響と課題があった。増築するにも増築するための土地もない。他の場所に移転、建て替えをすることで機能訓練設備が整備でき、専用の入浴設備があることで感染症による行動・利用の制限が無くなる。利用者の方の機能訓練も充実することができる。既存の在宅サービスを充実することは、在宅生活の支援ができ利用者の希望を叶えることだと検討した。
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

(単位：千円)

事業名	事業費内訳	1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	合計
デイサー ビスセン ター建替 移転事業	計画の実施期間に おける事業費合計	200	1,800	6,187	123,750	3,000	134,937
	社会福祉充実 残額	200	1,800	6,187	113,473	0	121,660
	補助金						
	借入金						
	事業収益				10,277	3,000	13,277
	その他						

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	デイサービスセンター建替移転事業	
主な対象者	九戸村の要介護認定者及び総合事業対象者	
想定される対象者数	1日30名	
事業の実施地域	九戸村村内	
事業の実施時期	平成29年4月1日～平成34年3月31日	
事業内容	これからの九戸村民の在宅生活を支援していくためにリハビリ設備の整ったデイサービス事業を、移転、建て替えをし既存サービスの充実を図りたい。九戸福祉会のデイサービスは1990年当時、高齢化率17.8%の時代の対応であり利用者10名前後（重度の方1～2名）であった。当時から浴室も特養と共用ということもあり、行事や感染症、利用者の入浴時間のニーズ対応を検討した時に入浴時間の選択、行事の日程の制限もあり、特に感染症対策の面では大きな障害となってきた。施設からの発症の場合のデイサービスの利用者の行動制限、また、デイサービス利用者からの発症の場合の施設への影響というにリスクがあった。九戸村内の高齢化率2015年の38.8%から2020年には42.2%と推移する。現在のデイサービスセンターの利用者は1日、25名定員であり介護度1～5の方が88名である。今後の高齢化を考えると25～30名の対応ができるようにゆとりを持ち、機能訓練室設備をゆとりをもっておけるようにしたい。リハビリ病院の退院後、自宅生活でも、機能訓練維持ができるよう在宅生活を継続支援ができる機能を持ったデイサービスとし、居宅介護支援センター、ヘルパー事業所も一か所に移転することで在宅サービスの情報共有・連携を取ることができ質の高いサービス提供ができ、在宅サービスの充実を図ることができる	
事業の実施スケジュール	1か年度目	建設に向けての参考施設調査
	2か年度目	建設場所の選定、購入に向けての準備、土地の確保
	3か年度目	設計図への職員の要望確認しながら設計図依頼
	4か年度目	デイサービスセンターの建設
	5か年度目	備品等の購入

事業費積算 (概算)	調査費 200,000 円 設計料 $408.39 \text{ m}^2 \div 3.3 = 123.75 \times 1,000,000 \text{ 円} = 123,750,000 \text{ 円}$ $123,750,000 \text{ 円} \times 5\% = 6,187,500 \text{ 円}$ 土地購入費 $1,200 \text{ m}^2 \times 1,500 \text{ 円} = 1,800,000 \text{ 円}$ (田んぼでの計算) 建設費 $408.39 \text{ m}^2 \div 3.3 = 123.75 \times 1,000,000 \text{ 円} = 123,750,000 \text{ 円}$ 備品購入費 3,000,000 円	
	合計	134,937 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 121,660 千円)

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--